

■景観資源

景観資源 類型

- | | | | |
|---|-------------------|---|----------|
| ▲ | 地形的ランドマーク | ● | 歴史的建造物 |
| ○ | 親水空間 | ■ | 文教施設 |
| ● | 公共空間の緑 (拠点・軸) | ● | 現代建造物 |
| ● | 保護樹木と境内林・樹林等 | ■ | 歴史的まちなみ |
| ▶ | 眺望ポイント
視方向←視点場 | ■ | 特徴的なまちなみ |



- | | |
|--------------------------------|---|
| ① 甲子園浜海浜公園 | ①⑨ 濱甲子園倶楽部会館 (浜甲子園安心コミュニティプラザ) |
| ② 甲子園ヨットハーバー | ②⑩ 武庫大橋 |
| ③ 枝川沿いの親水空間 | ②⑪ 武庫川女子大学附属中学校・高等学校芸術館 (旧鳴尾競馬場本館) |
| ④ 武庫川河川敷緑地 | ②⑫ 武庫川女子大学 中央キャンパス |
| ⑤ 北郷公園 | ②⑬ 阪神甲子園球場 (景観賞) |
| ⑥ 甲子園筋のタイフンフとポプラの並木 | ②⑭ 鳴尾・武庫川女子大前駅 |
| ⑦ 武庫川女子大学附属中学校・高等学校周辺のメタセコイア並木 | ②⑮ 西宮港大橋 |
| ⑧ 鳴尾新川筋の桜並木 | ②⑯ 三基商事(株)西宮工場 (景観賞) |
| ⑨ 浜甲子園のクスノキ並木 | ②⑰ 甲子園筋のまちなみ |
| ⑩ 枝川町のプールバール (浜甲子園公園) | ②⑱ 枝川町戸建住宅A地区のまちなみ (景観重点地区) |
| ⑪ 鳴尾浜臨海公園 | ②⑲ 枝川町戸建住宅B地区のまちなみ (景観重点地区) |
| ⑫ 岡太神社の境内林 | ③① 武庫大橋から西宮市街への眺望 |
| ⑬ 白山姫神社の境内林 | ③② 甲子園浜海浜公園 見晴台からの眺望 |
| ⑭ 鳴尾八幡神社の境内林 | ③③ 甲子園浜橋から自然海浜への眺望 |
| ⑮ 等覚寺のクスノキ | ③④ 阪神高速湾岸線側道 (鳴尾浜・甲子園浜間) から六甲山系を背にした市街地への眺望 |
| ⑯ 西方寺のイチョウ | |
| ⑰ 善教寺のイチョウ | |
| ⑱ 枝川土手跡のマツ林 | |

上記の景観資源名を押しいただくと当該資源の詳細説明のページに移動します。

5-1 甲子園浜海浜公園		資 源 類 型	親水空間
所在地	地 域	鳴尾地域	
	住 所	甲子園浜 1-2-1	
座 標	北緯	34.71558	
	東経	135.35089 ※座標は代表点を示す	
建設年等		-	
指定等	景 観	-	
	文化財	-	
	環 境・その他	甲子園浜：国設浜甲子園鳥獣保護区・特別保護地区(昭和 53 年 11 月 1 日指定) 甲子園浜生物保護地区(平成 18 年 1 月 4 日指定)	
受賞歴等		-	
資源の概要		「人と海のふれあい」をテーマに、阪神間で残された砂浜を育てながら、海とふれあい、憩い楽しめる場所である。今津浜地区、浜地区、沖地区、ふるさと海岸地区、砂浜部分からなる。今津浜地区・浜地区には無料多目的広場があり、沖地区では砂遊びや砂浜での水遊びを楽しむことができる。ふるさと海岸地区は、自然の砂浜・干潟・磯がある貴重な浜となっていて、砂浜の西側には野鳥の貴重な餌場で面積が減少しつつある干潟があり、国設浜甲子園鳥獣保護区・特別保護区となっている。	
景観上の特徴		砂浜と樹林によって構成される自然豊かな海岸景観を形成している。見晴台からは広大な海辺の景観を眺望することができる。	
 甲子園浜海浜公園から見る六甲山系  甲子園浜海浜公園 見晴台			

5-2 甲子園ヨットハーバー		資 源 類 型	親水空間
所在地	地 域	鳴尾地域	
	住 所	浜甲子園	
座 標	北緯	34.71481	
	東経	135.34565	
建設年等		昭和 51 年(1976)	
指定等	景 観	-	
	文化財	-	
	環 境・その他	-	
受賞歴等		-	
資源の概要		甲子園ヨットハーバーは西宮港内旧国体棧橋(一文字棧橋)に関西のヨット愛好者が集まって昭和 51 年(1976)に発足した「一文字ヨットクラブ」に始まり、平成 17 年(2005)に兵庫県に係留認可を受けて西宮浜北護岸から甲子園浜北護岸に移転された。	
景観上の特徴		甲子園浜橋から眺望することができ、明るく開放的な海辺の景観を特徴づけている。	
 甲子園浜大橋から見る甲子園ヨットハーバー  甲子園ヨットハーバーと西宮港大橋			

5-3 枝川沿いの親水空間		資 源 類 型	親水空間
所在地	地 域	鳴尾地域	
	住 所	枝川町	
座 標	北緯	34.71407	※座標は代表点を示す
	東経	135.36419	
建設年等		-	
指定等	景 観	-	
	文化財	-	
	環 境・その他	浜甲子園団地地区計画	
受賞歴等		-	
資源の概要		甲子園の開発に伴って付け替えられた枝川の親水空間である。川沿いには遊歩道が整備されており、周囲には景観重点地区に指定されている枝川町戸建住宅A地区、B地区がある。	
景観上の特徴		まちなかであって、川沿いの木々と水面が心地よいおおいあるまちなみ景観を形成している。	



枝川町の親水空間



枝川四の橋交差点より南側を見る


5-4 武庫川河川敷緑地		資 源 類 型	公共空間の緑(拠点・軸)
所在地	地 域	鳴尾地域	
	住 所	田近野町～上田東町	
座 標	北緯	34.72597	※座標は代表点を示す
	東経	135.38148	
建設年等		-	
指定等	景 観	-	
	文化財	-	
	環 境・その他	-	
受賞歴等		-	
資源の概要		武庫川河川敷緑地は延長9km、開設面積31.3haに及び、甲東地域の一里山町から鳴尾地域の東鳴尾町までマツ並木が連続している。	
景観上の特徴		広い河川と河川敷のマツの並木の連なりが市街地の中で開放感あるおおいの景観軸を形成している。また、マツの並木は、沿川の住宅地などからも望むことができ、まちなみの緑の背景となって上質で個性ある景観の形成に寄与している。	





武庫川橋から見るサイクリングロード





河川敷緑地から見る武庫川

5-5 北郷公園		資 源 類 型	公共空間の緑(拠点・軸)
	所在地	地 域	鳴尾地域
		住 所	甲子園三番町 11
	座 標	北緯	34.72962
		東経	135.36813
建設年等		昭和 16 年(1941)	
指定等	景 観	-	
	文化財	-	
	環 境・その他	甲子園二・三番地区地区計画	
受賞歴等		-	
資源の概要		大正時代の武庫川の改修に伴う住宅地開発で生まれた甲子園に、昭和 16 年(1941)に開設された。公園内には西門から入ると小高い丘があり、頂上部には大きなマツの木が育っている。この丘は廃川となった枝川の堤防跡であると見られ、園内には、水利をめぐって犠牲となった農民の顕彰碑と解説板が設置されている。	
景観上の特徴		旧枝川の堤防跡に残るマツが大木に成長して、緑のランドマークとなっているとともに、甲子園開発当時の歴史的な住宅地景観の形成に寄与している。	

5-6 甲子園筋のタイワンフウとポプラの並木		資 源 類 型	公共空間の緑(拠点・軸)
	所在地	地 域	鳴尾地域
		住 所	甲子園二番町～甲子園五番町、甲子園八番町～甲子園九番町、上甲子園一丁目～甲子園三保町、甲子園町
	座 標	北緯	34.71769
		東経	135.36122 ※座標は代表点を示す
建設年等		-	
指定等	景 観	-	
	文化財	-	
	環 境・その他	甲子園三保地区、甲子園二・三番地区、甲子園五番・花園地区、甲子園浦風地区地区計画	
受賞歴等		-	
資源の概要		旧枝川が流れていた跡地に整備された甲子園筋に沿って立つタイワンフウとポプラの並木。甲子園筋は阪神電鉄の路面電車(甲子園線)が走っていたが、昭和 50 年(1975)に廃止された。	
景観上の特徴		国道 2 号から阪神甲子園駅前、甲子園南側から浜甲子園方面にかけてタイワンフウとポプラの連続する並木が市街地景観に緑のうらおいと四季の彩りを与えている。	

5-7 武庫川女子大学附属中学校・高等学校周辺のメタセコイヤ並木		資源 種類	公共空間の緑(拠点・軸)
	所在地	地域	鳴尾地域
		住所	枝川町
座標		北緯	34.71089
		東経	135.36401 ※座標は代表点を示す
建設年等			-
指定等	景観	-	
	文化財	-	
	環境・その他		
受賞歴等			-
	資源の概要	武庫川女子大学附属中学校・高等学校の敷地の外周がメタセコイヤ並木で囲まれている。	
南東方向から見る並木(夏)	景観上の特徴	道路を包み込むような緑量豊かな並木が、四季を通じて様々な表情をみせながら、印象的な空間を演出している。	

5-8 鳴尾新川筋のサクラ並木		資源 種類	公共空間の緑(拠点・軸)
	所在地	地域	鳴尾地域
		住所	東鳴尾町1~2、池開町、武庫川町、笠屋町、上田中町
座標		北緯	34.71371
		東経	135.37666 ※座標は代表点を示す
建設年等			-
指定等	景観	-	
	文化財	-	
	環境・その他		
受賞歴等			-
	資源の概要	鳴尾新川沿いにサクラ並木が連続している。鳴尾新川はかつて鳴尾の新田開発のための水路で、鳴尾浄水場あたりが源流といわれる。	
鳴尾新川より南側のサクラ並木	景観上の特徴	川沿いにサクラ並木が続き、水と緑による豊かなうらおい景観の形成に寄与している。	

5-9 浜甲子園のクスノキ並木		資 源 類 型	公共空間の緑(拠点・軸)
所在地	地 域	鳴尾地域	
	住 所	浜甲子園 1~3	
座 標	北緯	34.71221	
	東経	135.35609 ※座標は代表点を示す	
建設年等	昭和 6 年(1931)		
指定等	景 観	-	
	文化財	-	
	環 境・その他	浜甲子園地区地区計画	
受賞歴等	-		
資源の概要	<p>浜甲子園 1~3 丁目の道路沿いにクスノキ並木が連続している。浜甲子園は阪神電鉄と大林組によって開発され、昭和 6 年(1931)に浜甲子園健康住宅地として宅地分譲された。</p>		
景観上の特徴	<p>地区を貫く軸として浜甲子園の代表的な景観となっている。</p>		



東側から見る並木と六甲山系



歩道から見るイチョウと並木

5-10 枝川町のブルバール（浜甲団地公園）		資 源 類 型	公共空間の緑(拠点・軸)
所在地	地 域	鳴尾地域	
	住 所	枝川町	
座 標	北緯	34.70997	
	東経	135.36472 ※座標は代表点を示す	
建設年等	令和 2 年(2020)		
指定等	景 観	-	
	文化財	-	
	環 境・その他	浜甲子園団地地区計画	
受賞歴等	-		
資源の概要	<p>UR 団地の建替事業と共に区域の中央を貫くように整備されたものである。正式名称は「浜甲団地公園」。</p>		
景観上の特徴	<p>3つの街区を貫く開放的な緑の空間がうろおいの景観軸を成し、まちの一体感を形成するとともに、海辺を感じさせるフェニックスのゲートも相まって、地区の景観を特徴付けている。</p>		



西側から見る浜甲団地公園



東側から見る浜甲団地公園

5-11 鳴尾浜臨海公園		資 源 類 型	公共空間の緑(拠点・軸)
所在地	地 域	鳴尾地域	
	住 所	鳴尾浜 3 丁目 13	
座 標	北緯	34.69278	※座標は代表点を示す
	東経	135.35947	
建設年等		-	
指定等	景 観	-	
	文化財	-	
	環 境・その他	-	
受賞歴等		-	
資源の概要		鳴尾浜の海辺沿いに整備された親水公園。約 4,500 m ² の広大な芝生広場があり、他にも海づり広場などが設置されている。広場からは海を見渡すことができる。	
景観上の特徴		公園内の豊かな緑は、周辺の工場エリアにうらおいを与えるとともに、公園内からは大阪湾を一望することができる。	



北西から見る鳴尾浜臨海公園



海釣り広場

5-12 岡太神社の境内林		資 源 類 型	保護樹木と境内林・樹林等
所在地	地 域	鳴尾地域	
	住 所	小松南町 2 丁目 2-8	
座 標	北緯	34.72135	西宮市景観樹林保護地区(番号:3)(昭和 48 年 10 月 22 日指定、平成 7 年 12 月 21 日区域変更)
	東経	135.37945	
建設年等		-	
指定等	景 観	-	
	文化財	-	
	環 境・その他	西宮市景観樹林保護地区(番号:3)(昭和 48 年 10 月 22 日指定、平成 7 年 12 月 21 日区域変更)	
受賞歴等		-	
資源の概要		岡太神社の境内林(約 0.18ha)は岡太神社林として景観樹林保護地区に指定されている。武庫郡の式内社の論社として、鳴尾地域では最古の神社と伝えられている。イノシシの狛犬が社を守っている。	
景観上の特徴		豊かな境内林が周辺のまちなみにうらおいを与えるとともに、旧街道の往時の佇まいを今に伝える存在となっている。	



岡太神社境内



前面道路(旧国道)の歩道から見る境内林



5-13 白山姫神社の境内林			資 源 類 型	保護樹木と境内林・樹林等
 <p>白山姫神社の鳥居と境内林</p>	所在地	地 域	鳴尾地域	
		住 所	小曾根町4丁目7-22	
		座 標	北緯	34.72703
			東経	135.37784
建設年等	-			
指定等	景 観	-		
	文化財	-		
	環 境・その他	西宮市景観樹林保護地区<番号:19>(昭和50年12月1日指定、平成7年12月21日区域変更)		
受賞歴等	-			
資源の概要	境内の境内林(約0.15ha)は白山姫神社林として景観樹林保護地区に指定されている。創立年代は不詳であるが、室町時代に現在の石川県加賀国白山比咩神社より勧請されたと言われている。			
景観上の特徴	豊かな境内林が焼板の建物などとともに、通り景観にうるおいと趣を与えている。			
 <p>隣接する住宅と境内林</p>				

5-14 鳴尾八幡神社の境内林			資 源 類 型	保護樹木と境内林・樹林等
 <p>鳴尾八幡神社の鳥居と境内林</p>	所在地	地 域	鳴尾地域	
		住 所	上鳴尾町14-21	
		座 標	北緯	34.72226
			東経	135.36895
建設年等	-			
指定等	景 観	-		
	文化財	-		
	環 境・その他	西宮市景観樹林保護地区<番号:2>(昭和48年10月22日指定、平成7年12月21日区域変更) 上鳴尾地区地区計画		
受賞歴等	-			
資源の概要	鳴尾八幡神社の境内林(約0.37ha)は八幡神社林として景観樹林保護地区に指定されている。鳴尾八幡神社は室町時代初期～中期創祀とされており、平成7年(1995)に阪神・淡路大震災によって本殿は全壊したが、平成12年(2000)に社殿が再建された。			
景観上の特徴	通りにせりだす境内林は、まちなみに豊かな緑を提供し、うるおいある閑静な住宅地景観の形成に寄与している。			
 <p>北側から見る境内林</p>				

5-15 等覚寺のクスノキ		資 源 類 型	保護樹木と境内林・樹林等	
 <p>境内から見るクスノキ</p>	所在地	地 域	鳴尾地域	
		住 所	小松町 1-1	
		座 標	北緯	34.72388
			東経	135.37739
	建設年等	-		
	指定等	景 観	-	
		文化財	-	
		環 境・その他	西宮市保護樹木<番号:51>(昭和 48 年 10 月 22 日指定)	
	受賞歴等	-		
	資源の概要	等覚寺の境内に立つ樹高 19m、幹周 455cm のクスノキ。		
景観上の特徴	低層建物が建ち並んだ路地の先に突然現れる姿が印象的で、地区景観のアクセントとなっている。			

5-16 西方寺のイチヨウ		資 源 類 型	保護樹木と境内林・樹林等	
 <p>前面道路から見るイチヨウ</p>	所在地	地 域	鳴尾地域	
		住 所	鳴尾町 3-4-14	
		座 標	北緯	34.71793
			東経	135.37057
	建設年等	-		
	指定等	景 観	-	
		文化財	-	
		環 境・その他	西宮市保護樹木<番号:50>(昭和 48 年 10 月 22 日指定)	
	受賞歴等	-		
	資源の概要	西方寺の境内に立つ樹高 17m、幹周 219cm のイチヨウ。		
景観上の特徴	美しい樹形のイチヨウが境内の正門と対となり、まちなみ景観の品位を高めるアクセントとなっている。			

5-17 善教寺のイチヨウ		資 源 類 型	保護樹木と境内林・樹林等	
 <p>境内から見るイチヨウ</p>	所在地	地 域	鳴尾地域	
		住 所	鳴尾町 4-10-7	
		座 標	北緯	34.71605
			東経	135.36866
	建設年等	-		
	指定等	景 観	-	
		文化財	-	
		環 境・その他	西宮市保護樹木<番号:48>(昭和48年10月22日指定)	
	受賞歴等	-		
	資源の概要	善教寺の境内に立つ樹高9m、幹周223cmのイチヨウ。		
景観上の特徴	戸建て住宅の屋根を超える大きさの一本の古木が残り、地区の緑のシンボルとなっている。			

5-18 枝川土手跡のマツ林		資 源 類 型	保護樹木と境内林・樹林等	
 <p>枝川土手跡のマツ林</p>  <p>甲子園駅とマツ林</p>	所在地	地 域	鳴尾地域	
		住 所	甲子園七番町1	
		座 標	北緯	34.72316
			東経	135.36370
	建設年等	-		
	指定等	景 観	-	
		文化財	-	
		環 境・その他	-	
	受賞歴等	-		
	資源の概要	旧枝川の堤防のマツ林が駅前の商業施設の敷地内に残されている。		
景観上の特徴	にぎやかで都会的な駅前エリアと、風情あるマツ林のコントラストが印象的な景観を形成している。			

5-19	濱甲子園倶楽部会館（浜甲子園安心コミュニティプラザ）	資	源	歴史的建造物		
		類	型			
 <p>北側道路から見るコミュニティプラザ</p>	所在地	地	域	鳴尾地域		
		住	所	浜甲子園 2-10-5		
		座	標	北	緯	34.71407
				東	経	135.35595
建設年等	昭和 7 年(1932)					
指定等	景	観	西宮市都市景観形成建築物等(平成 23 年 11 月 2 日指定)			
	文	化	財	-		
	環	境	・	その他	浜甲子園地区地区計画	
受賞歴等	ひょうごの近代住宅 100 選(兵庫県)					
資源の概要	<p>濱甲子園倶楽部会館は昭和初期に「浜甲子園健康住宅地」として開発された郊外住宅地のほぼ中央に位置している。昭和 7 年(1932)に建築され、平成 12 年に増築・改修が行われたが、同時に、それまで改造されていた部分の建設当初の姿への復元も試みられた。建設以来、浜甲子園町会の集会施設として地域の住民によって愛着を持って利用され、大切に守られてきており、その活動が評価されて平成 17 年には第 4 回西宮市都市景観賞を受賞している。また、平成 22 年には兵庫県によって「ひょうごの近代住宅 100 選(神戸・阪神間の洋風住宅)」に選ばれている。</p>					
景観上の特徴	<p>丸窓や欄干窓など用いた和風要素が加味されたスパニッシュ風の近代建築物であり、昭和初期に浜甲子園に建てられた阪神間の住宅様式の特徴を見ることができる。現在は地域のコミュニティプラザとして利用されながら、往時のまちなみを今に伝えている。</p>					
東側道路から見るコミュニティプラザ						

5-20	武庫大橋	資	源	歴史的建造物		
		類	型			
 <p>河川敷緑地から見る武庫大橋の橋脚</p>	所在地	地	域	鳴尾地域		
		住	所	戸崎町		
		座	標	北	緯	34.73201
				東	経	135.37886
建設年等	大正 15 年(1926)					
指定等	景	観	-			
	文	化	財	-		
	環	境	・	その他	-	
受賞歴等	日本 100 名橋 土木遺産					
資源の概要	<p>武庫大橋は、武庫川に架かる橋として増田淳氏の設計によって大正 15 年(1926)に竣工した全長 262.5m の RC 開腹アーチ橋である。側面には人造擬石の装飾がされたモダンな雰囲気のあるアーチのある橋は中央部にバルコニーがあり、高欄は北木石(きたぎいし)という花崗岩の一種が使われている。日本 100 名橋に選ばれ、土木学会選奨土木遺産にも認定された。</p>					
景観上の特徴	<p>風格に満ちた近代的デザインを持つ武庫大橋は、隣接する武庫川女子大学甲子園会館と一体となって、「文教住宅都市」にふさわしい市東部の玄関口としての役割を果たしている。</p>					
歩道沿いの視点場						

5-21	武庫川女子大学附属中学校・高等学校芸術館 (旧鳴尾競馬場本館)	資 源 類 型	文教施設		
			所在地	鳴尾地域	
		地 域	鳴尾地域		
			住 所	甲子園九番町 10-1	
		座 標		北緯	34.71273
			東経	135.36438	
建設年等		昭和 10 年(1935)			
指定等		景 観			-
		文化財			-
		環 境・その他			-
受賞歴等		-			
資源の概要		<p>明治 40 年(1907)に関西初の競馬場として竣工した鳴尾競馬場のメインスタンドに附属する貴客室として、昭和 10 年(1935)に建てられたもので、全国でも教えるほどしか残っていない戦前の競馬場の遺構となる。昭和 18 年(1943)の戦時下には飛行場の管制塔として使用され、現在は武庫川女子大学附属中学校・高等学校の芸術館として利用されている。</p>			
景観上の特徴		<p>競馬場スタンドから飛行場の管制塔、校舎へとその用途を変えながらも現在まで建物は保全され、時代の変遷を今に伝える存在として、地区景観の静かなアクセントとなっている。</p>			
					
並木越しに見る旧貴客室と生垣					

5-22	武庫川女子大学 中央キャンパス	資 源 類 型	文教施設		
			所在地	鳴尾地域	
		地 域	鳴尾地域		
			住 所	鳴尾町 1 丁目、笠屋町、池開町	
		座 標		北緯	34.71696
			東経	135.37463	
建設年等		-			
指定等		景 観			-
		文化財			-
		環 境・その他			-
受賞歴等		-			
資源の概要		<p>武庫川女子大学は昭和 24 年(1949)に開設された大学 10 学部 17 学科、短期大学部 7 学科、大学院 7 研究科の女子総合大学である。現在、約 0.37ha に及ぶキャンパスに地上 13 階建ての中央図書館や日下記念マルチメディア館などの施設がある。</p>			
景観上の特徴		<p>複数の街区にわたって立地するキャンパス自体がひとつのまちを形成しているかのようであり、煉瓦調の外壁を基調とした重厚な校舎群と道路際の豊かな植栽が、文教住宅都市にふさわしい風格とuringおいのある景観形成に寄与している。</p>			
					
南側から見るキャンパス					

5-23 阪神甲子園球場		資 源 類 型	歴史的建造物
所在地	地 域	鳴尾地域	
	住 所	甲子園町 1-82	
座 標	北緯	34.72130	
	東経	135.36159	
建設年等	大正 13 年(1924)		
指定等	景 観	-	
	文化財	-	
	環 境・その他	-	
受賞歴等	第 5 回西宮市都市景観賞(平成 22 年度)まちなみ建築賞		
資源の概要	<p>阪神甲子園球場は阪神電気鉄道によって大正 13 年(1924)に開場した野球場である。全国的に有名な球場であり、西宮市のランドマークとなっている。銀傘(内野席に付いている雨よけ、日よけの覆いのこと)と外壁を覆う蔦が球場の景観の特徴であり、平成 18 年(2006)から行われたリニューアル工事にあってもそれらが継承され、平成 21 年(2009)から再植樹された蔦が外壁を覆い始めている。現在の球場は第 5 回西宮市都市景観賞を受賞している。</p>		
景観上の特徴	<p>言わずと知れた西宮を代表する施設であり、リニューアル工事を経て新たな姿となりながらも、外壁を覆う蔦などのデザインは継承され、風格ある地区景観のランドマークとして存在し続けている。</p>		
 <p>甲子園球場北側の蔦</p>  <p>南西に立地する商業施設から見る甲子園球場周辺</p>			

5-24 鳴尾・武庫川女子大前駅		資 源 類 型	現代建造物
所在地	地 域	鳴尾地域	
	住 所	里中町 3-13	
座 標	北緯	34.71960	
	東経	135.37034	
建設年等	-		
指定等	景 観	-	
	文化財	-	
	環 境・その他	-	
受賞歴等	-		
資源の概要	<p>明治 38 年(1905)に開業した阪神電気鉄道本線の鳴尾駅は、武庫川女子大学建築・都市デザインスタジオ(一級建築士事務所)が「阪神鳴尾駅プロジェクト」として平成 24 年(2012)に駅舎の外観デザインを提案するなどし、平成 29 年(2017)3 月の高架橋全面供用時にはその姿を新しくした。高架下には全国初となる大学キャンパス施設(武庫女ステーションキャンパス)も整備されている。</p>		
景観上の特徴	<p>個性的で洗練されたデザインの駅舎は、地区景観の個性を育む新たなランドマークとなっている。</p>		
 <p>北側から見る鳴尾駅</p>  <p>南側から見上げる鳴尾駅</p>			

5-25 西宮港大橋		資 源 類 型	現代建造物
所在地	地 域	鳴尾地域	
	住 所	西宮浜と甲子園浜の間	
座 標	北緯	34.71427	
	東経	135.34148	
建設年等		平成 6 年(1994)	
指定等	景 観	-	
	文化財	-	
	環 境・その他	-	
受賞歴等		-	
資源の概要		西宮港大橋は西宮市の甲子園浜と西宮浜を結ぶ橋長 252m のニールセンローゼ桁橋であり平成 6 年(1994)に完成した。	
景観上の特徴		白いアーチ状の構造体が海の青色を中心とした景観に映え、地区のランドマークになっている。	



甲子園浜海浜公園から見る西宮港大橋



南側より見る西宮港大橋

5-26 三基商事(株)西宮工場		資 源 類 型	現代建造物
所在地	地 域	鳴尾地域	
	住 所	鳴尾浜 3-12-4	
座 標	北緯	34.69367	
	東経	135.36151	
建設年等		昭和 56 年(1981)	
指定等	景 観	-	
	文化財	-	
	環 境・その他	-	
受賞歴等		第 1 回西宮市都市景観賞(平成 2 年度)	
資源の概要		昭和 56 年(1981)に市内に西宮工場が開設され、平成 6 年(1994)に工場本館が建設された。簡潔で現代的にデザインされた工場として西宮市都市景観賞を受賞している。	
景観上の特徴		建物を道路から後退させて生み出した空間を緑豊かに植栽し、まちなみにうおいを与えている。特に、正門部にシンボリックに植えられた樹木が、まちの魅力を高めている。産業地の優れたまちなみ形成のモデルといえる。	



東側道路から見る西宮工場



東側道路から見る西宮工場

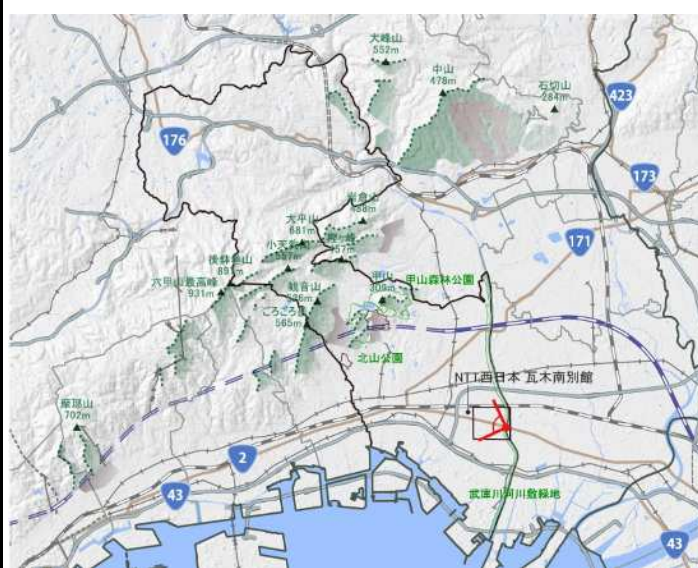
5-27 甲子園筋のまちなみ		資 源 類 型	特徴的なまちなみ
 <p>甲子園二番町のまちなみ</p>	所在地	地 域	鳴尾地域
		住 所	上甲子園 1 丁目、甲子園三保町、甲子園二番町～甲子園五番町
		座 標	北緯
	東経		135.36802 ※座標は代表点を示す
建設年等			-
指定等	景 観	-	
	文化財	-	
	環 境・その他	甲子園三保地区、甲子園二・三番地区、甲子園五番・花園地区地区計画	
受賞歴等			-
 <p>甲子園三番町のまちなみ</p>	資源の概要	甲子園筋は旧枝川が流れていた跡地に整備された通りである。阪神電鉄の路面電車(甲子園線)が走っていたが、昭和 50 年(1975)に廃止された。	
	景観上の特徴	天井川であった枝川の護岸に設けられた御影石の石積み各所に残り、歴史ある住宅地の風格を高めている。	

5-28 枝川町戸建住宅 A 地区のまちなみ		資 源 類 型	特徴的なまちなみ
 <p>枝川 A 地区のまちなみ①</p>	所在地	地 域	鳴尾地域
		住 所	枝川町 11
		座 標	北緯
	東経		135.36314 ※座標は代表点を示す
建設年等			-
指定等	景 観	枝川町戸建住宅 A 地区景観重点地区(平成 28 年 9 月 7 日指定)	
	文化財	-	
	環 境・その他	浜甲子園団地地区計画	
受賞歴等			-
 <p>枝川 A 地区のまちなみ②</p>	資源の概要	UR 再生事業での余剰地に整備された区間の戸建住宅開発地である。臨海部に立地し、周辺には枝川や阪神間では貴重な自然海浜の残る甲子園浜、広大な浜甲子園運動公園が位置するなど、自然環境に恵まれた開放感のある住宅地である。	
	景観上の特徴	景観重点地区として、周囲の恵まれた自然環境と、UR 都市機構が再生した浜甲子園団地のまちなみとの調和に配慮しつつ、個性と美しさのバランスが取れた住宅市街地の良好な景観形成を目指している。	

5-29 枝川町戸建住宅B地区のまちなみ		資 源 類 型	特徴的なまちなみ	
 <p>枝川B地区のまちなみ①</p>	所在地	地 域	鳴尾地域	
		住 所	枝川町 15,16	
		座 標	北緯	34.71028
			東経	135.36046 ※座標は代表点を示す
	建設年等	-		
指定等	景 観	枝川町戸建住宅B地区景観重点地区(令和元年12月27日指定)		
	文化財	-		
	環 境・その他	浜甲子園団地地区計画		
受賞歴等	-			
 <p>枝川B地区のまちなみ②</p>	資源の概要	UR再生事業での余剰地に整備された区間の戸建住宅開発地である。臨海部に立地し、周辺には枝川や阪神間では貴重な自然海浜の残る甲子園浜、広大な浜甲子園運動公園が位置するなど、自然環境に恵まれた開放感のある住宅地である。		
	景観上の特徴	景観重点地区として、周囲の恵まれた自然環境と、UR都市機構が再生した浜甲子園団地のまちなみとの調和に配慮しつつ、個性と美しさのバランスが取れた住宅市街地の良好な景観形成を目指している。		



視点場からの眺望



視点場と視対象の関係



視点場周辺の拡大図

視点場所在地	緯度	34.73201
	経度	135.37886
眺望空間	近景	旧甲子園ホテル、武庫川のマツ並木
	中景	国道2号沿いのまちなみ
	遠景	六甲山地の山並み

類型	パノラマ	
構成	視点場	武庫大橋歩道
	視対象	旧甲子園ホテルと六甲山地の山並みを背景とした市街地

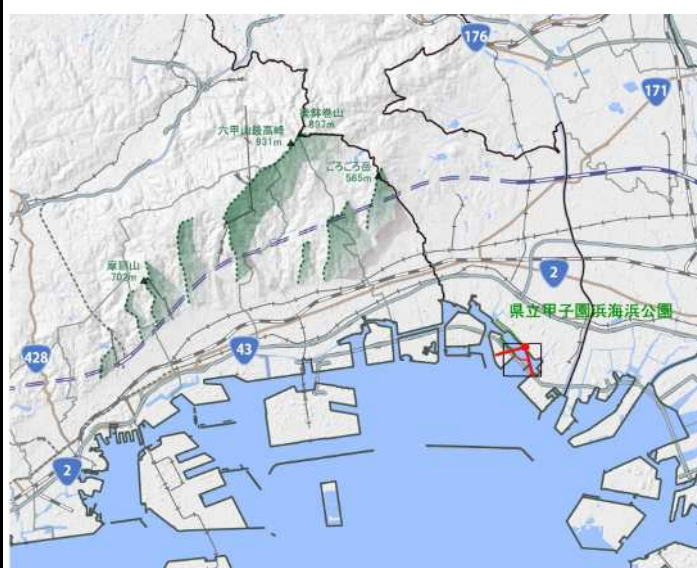


視点場の状態

特徴	<ul style="list-style-type: none"> • 風格のある高欄越しに旧甲子園ホテルと六甲山地の山並みが望める。近景の旧甲子園ホテルの保護樹木群や武庫川のマツ並木と、遠景の六甲山地の山並みの緑が一体となって豊かな自然環境の残る文教住宅都市を代表する眺望となっている。 • 武庫川の堤防を越えるため橋がアーチ状になっており、橋の中央が一番高く見晴が良好である。
----	---



視点場からの眺望



視点場と視対象の関係



視点場周辺の拡大図

視点場所在地	緯度	34.71119
	経度	135.35561
眺望空間	近景	浜甲子園鳥獣保護区
	中景	阪神高速湾岸線
	遠景	六甲山地を背景とした市街地

類型	パノラマ	
構成	視点場	甲子園浜海浜公園 見晴台
	視対象	浜甲子園鳥獣保護区



視点場の状態

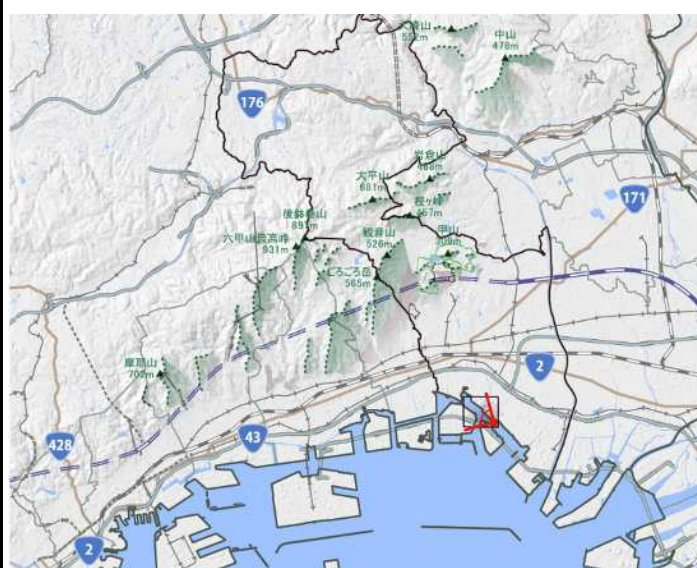
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・自然海浜を近景として甲子園浜周辺の開放的な臨海景観や六甲山系の山並みを眺望できる。 ・西宮港大橋がアイストップとなっている。
----	--

甲子園浜橋からヨットハーバーと六甲山系の山並みへの眺望

【鳴尾地域】



視点場からの眺望



視点場と視対象の関係



視点場周辺の拡大図

種類	パノラマ		<p>視点場の状態</p>	眺望空間	近景	甲子園ヨットハーバー
構成	視点場	甲子園浜橋歩道(西側)			中景	西宮大橋と埋立地
	視対象	ヨットハーバー、六甲山地を背景とした市街地	遠景	六甲山地を背景とした市街地		
特徴	<ul style="list-style-type: none"> 六甲山地を背景とした臨海部の市街地を望むことができる。 左側に見える甲子園ヨットハーバーが海辺の景観を形成し、西宮港大橋がアイストップになっている。 					



視点場からの眺望



視点場と視対象の関係



視点場周辺の拡大図

視点場所在地	緯度	34.71447
	経度	135.34835
眺望空間	近景	大阪湾の水面
	中景	浜甲子園鳥獣保護区
	遠景	武庫川団地群、阪神甲子園球場の照明塔と銀傘

類型	パノラマ	
構成	視点場	甲子園浜橋歩道(東側)
	視対象	甲子園浜海浜公園の自然海浜、浜甲子園鳥獣保護区



視点場の状態

特徴	<ul style="list-style-type: none"> 甲子園浜海浜公園に残る自然海浜と浜甲子園鳥獣保護区を見ることができる。 南甲子園の高層住宅や武庫川団地の高層棟が背景となっている。北側には阪神甲子園球場の照明塔と銀傘を遠望できる。
----	---

阪神高速湾岸線側道（鳴尾浜・甲子園浜間）から六甲山系を背にした市街地への眺望

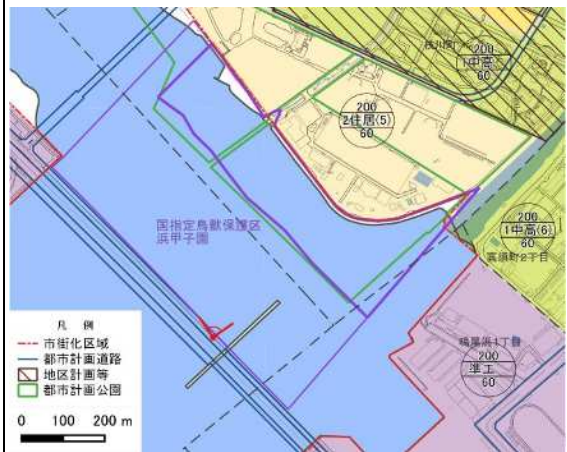
【鳴尾地域】



視点場から西側への眺望



視点場と視対象の関係



視点場周辺の拡大図

種類	パノラマ		<p>視点場の状態</p>	眺望空間	近景	大阪湾の水面
構成	視点場	阪神国道湾岸線側道			中景	浜甲子園鳥獣保護区
	視対象	六甲山地を背景としたまちなみ	遠景	六甲山地を背景とする市街地		
特徴	<ul style="list-style-type: none"> 視線を遮る障害物がなく、六甲山地を背景とした北側のまちなみを見る良好な眺望点が連続している。 近代に開発された郊外住宅地である山裾の甲陽園から浜辺の浜甲子園までが海側から見渡せ、文教住宅都市西宮の広域的な景観イメージを特徴づける眺望である。 					